

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしりととりチャペル

# パイプオルガン 奉献記念コンサート

演奏曲目 J.P.スヴェーリンク いと高さ神にのみ栄光あれ  
G.ベーム 天にましますわれらの父よ  
J.S.バッハ 幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 他

名古屋学院大学と名古屋学院大学父母会(卒業記念事業)の共同設置事業として、2016年6月にマルク ガルニエ オルグ ジャポン社へ制作を依頼。オルガンパーツは大小合わせて3万パーツにもおよび、その制作作業はフランス本国の兄弟会社(ガルニエ オルグ フランス)と山梨県南都留郡忍野村にある工房で進められてきた。7月下旬からは場所を本学に移し、最終工程となる組立・設置作業や整音作業を行い、9月9日に名古屋キャンパスしりととりチャペルへ奉獻。

私共の基本的な願いは、皆様に質の高い礼拝のための楽器、又は‘道具’を提案することにあります。会衆讃美の伴奏を最も重要に考え、唯一の楽器として製作しました。パイプの整音を全てチャペルで実施致ることによって最適な音楽性を備えた楽器を生み出すことができました。最小のストップで最大の成果を引き出します。オルガン作品全般と最高の芸術的な接触を可能にすることで、皆様の礼拝と共に文化的な課題の意向にも応えられるようにしました。神の栄光のために美しい楽器を捧げることにより若い世代に指針を与える助けとなることを心より願っています。

マルク ガルニエ

日時 2019年11月2日(土)  
14:00~15:30(開場 13:00)

会場 名古屋学院大学  
名古屋キャンパスしりととりチャペル

定員 入場無料 100名 ※満席の場合は入場をお断りする場合があります。



奏者プロフィール  
椎名 雄一郎氏  
Yuichiro Shiina

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第1回ダラス国際オルガンコンクール第2位。第12回ライブツィヒ・バッハ国際コンクール第3位。2002年NDR(北ドイツ放送局)音楽賞国際オルガンコンクール優勝。ウィーン国立音楽大学に留学し、オルガンをM. ラドゥレスク氏、チェンバロをG. マレー氏に師事し、満場一致の最優秀の成績で卒業。スイス、バーゼル・スコラカントルム音楽院に留学。オルガンとチェンバロをJ.C.ツェンダー氏、通奏低音をJ.A.ベッティヒャー氏、アンサンブルをA.ルーリー氏に師事。日本のほか、スイス・オルガン・フェスティバルをはじめ、ドイツ、オーストリアを中心に欧州各地で演奏会を行なう。

コジマ録音よりCD「バッハのオルガン解体新書」、「平和の祈り」、「メンデルスゾーンオルガン作品集」などをリリース、レコード芸術特選盤に選ばれる。また春秋社より「パイプオルガン入門」を出版する。

現在、長崎・活水学院オルガニスト、キリスト教音楽研究所副所長、活水女子大学音楽学部音楽学科主任、教授。東京藝術大学非常勤講師。日本基督教団讃美歌委員会委員。日本キリスト教団吉祥寺教会オルガニスト。



※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

事前申込み  
優先

本紙裏面の申込用紙に必要事項を明記の上、FAXでお申し込みください。